

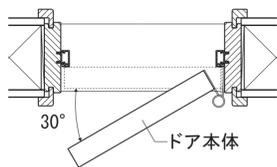
■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。必ず施工される方はお読みください。

**注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**注意**

●けがをするおそれがありますので、下記事項を厳守してください。  
 ・本製品は、ドアの開き角度が30°以下の範囲では自動的に閉まります。手・足などをはさまないようにご注意ください。



●ドア本体脱落の原因になりますので、下記事項を厳守してください。  
 ・建付け調整後、枠側丁番の固定ねじは締め直してください。  
 ・ドア本体つり込み後、枠側上丁番のレバーが上端まで上がっていることを確認してください。

■施工上のお願い

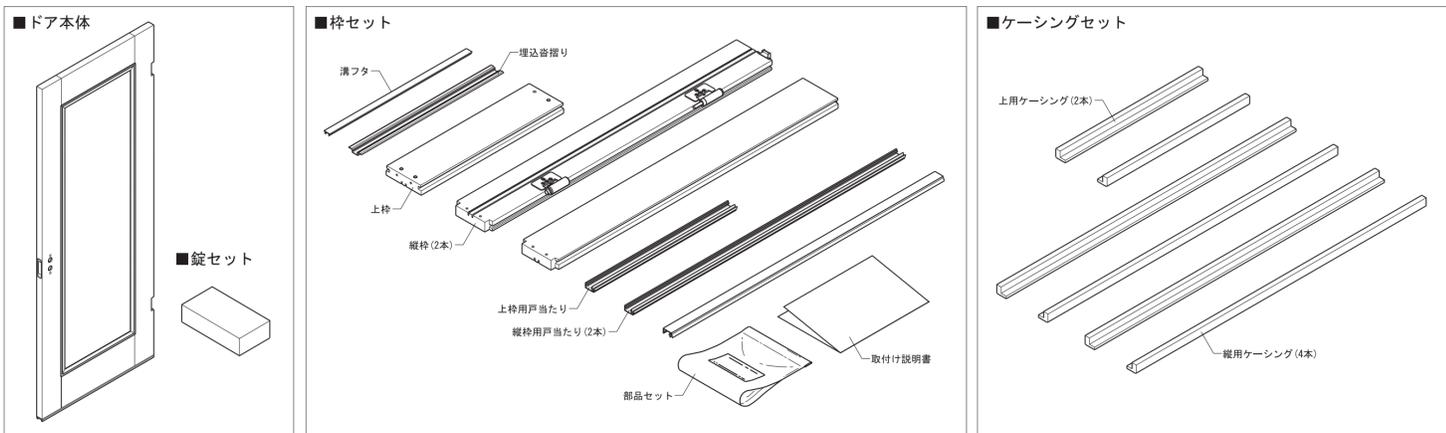
- 本製品のみでの使用では、防音効果はありません。建築壁部(天井・壁・床・窓・換気空調等)は防音性能を有する構成・構造にしてください。
- 標準ドア・トイレドアプライベート仕様は、一般住宅の居室用防音ドアです。カラオケボックス等の業務用・玄関等の室外・浴室等には使用しないでください。
- 必ず同梱の埋込沓摺りを使用してください。薄沓摺り納めはできません。(縦枠が埋込沓摺り納めの寸法で設定されています。)
- また、沓摺りなし納めにしないでください。防音性能が低下します。
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振り等で水平・垂直を確認してください。
- 調整機構付き丁番・ストライクの可動範囲を超える枠の倒れ・ゆがみ・ねじれ等が発生した場合、開閉不良および防音性能低下の原因になります。
- 造作材・建具枠を取り付ける時は、接着剤を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。
- 締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したりねじ頭が飛んだりつぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。部品・部材の脱落や、枠の垂れ下がり・ゆがみ等の原因になります。(本説明書で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 造作材・建具の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠組立て後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
- 造作材・建具枠と柱・まぐさとの間には必ず透き間をつくり、かい木を入れてください。かい木には合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。
- 止むを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に防水処理をしてください。
- 防音性能を維持するため、建築壁内の防音処理をし、下地材と枠の透き間に充てん材(防音パテ・コーキング材・遮音シート等/現場手配)を入れてください。
- 標準ドア・トイレドアプライベート仕様(換気口なしタイプ)は、機密性を高めています。
- 高気密高断熱住宅等に使用する場合は、別途建築壁部に換気ガラリ(現場手配)を取り付けるか、換気口付きタイプを使用してください。
- ドアストッパーを壁に取り付ける場合は、補強材が入っていることを確認してください。
- ドア本体は、直射日光の当たる場所・昼夜等で温度差の激しい場所・湿気の多い場所に保管しないでください。扉の反り・ねじれ等の原因になります。
- ドア本体は寝かせて保管し、長期間立てて置かないでください。扉の反り・ねじれ等の原因になります。
- 一時的に立てて保管する場合は、下部気密材保護のため、ドア本体下端の下部ピースは取り付けておいてください。
- 施工時の建具養生の際はダンボール・ミラーマット等を使用し、粘着力の強いテープ(ガムテープ・養生テープ等)を建具表面に直張りしないでください。テープをはがす際、表面シートを傷めたりテープの粘着剤が付着してとれなくなることがあります。
- 本製品はカーペットやクッションフロアーには使用できません。下部気密材が当たり開閉に支障がでます。

■部材・部品の明細

※防音ドア枠セットは4方枠構成です。必ず同梱の埋込沓摺りを使用してください。  
 ※薄沓摺り納めはできません。(縦枠が埋込沓摺り納めの寸法で設定されています。)  
 ※沓摺りなし納めにしないでください。防音性能が低下します。  
 ※縦枠の切断は不要です。

■枠セット		■ケーシングセット	
縦枠	2	上用ケーシング	2
上枠	1	縦用ケーシング	4
戸当たり	縦2・上1		
埋込沓摺り	1	■丁番セット	
枠定規	2	丁番	2
		本体取付けねじ(φ4×20皿タップねじ)	8
■部品セット		■錠セット	
枠組立てねじ(M4×50ジョイント金具用皿小ねじ)	4	ハンドルセット	1組
扉体取付けねじ(φ4×55トラスタッピンねじ)	19	台座セット	1組
埋込沓摺り取付けねじ(φ4×40ペタピンねじ)	3	台座取付けねじ(φ4×30)	2
		ハンドル固定ねじ(φ4×16)	1

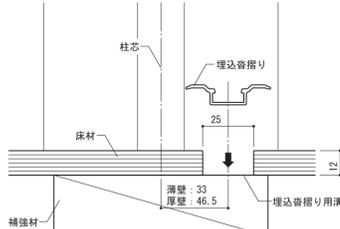
※戸当たりストッパーセットは別売りです。



■取付け順序

1 開口部の作成・床の施工

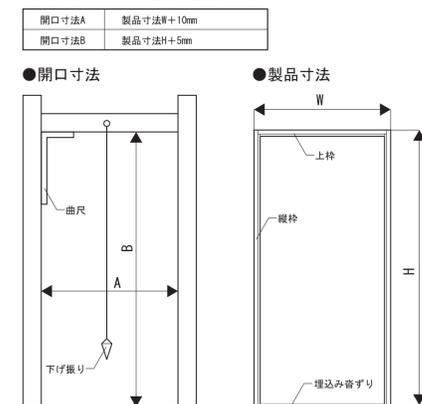
- ①製品寸法表から開口寸法を算出し、開口部を作成します。
- ②埋込沓摺り用溝の加工位置を決めます。  
※補強材が入っていることを確認してください。
- ③床を施工します。  
※埋込沓摺りの位置出しは正確に行ってください。  
防音性能が低下することがあります。  
※裏面の下端に記載の型紙を使用すると簡単に位置出しできます。



■製品寸法表 (単位: mm)

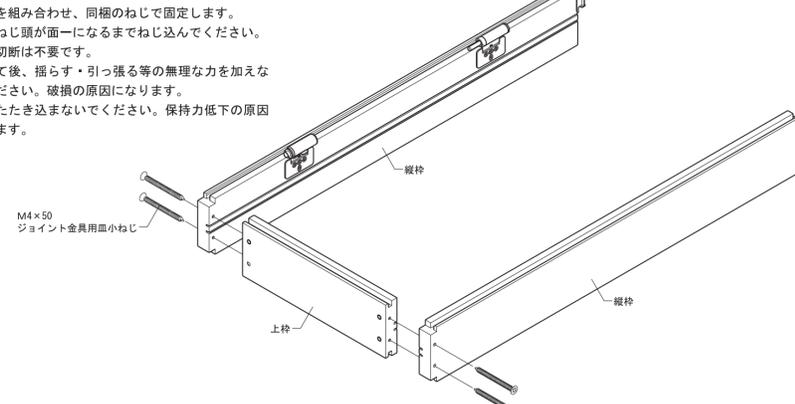
呼称	標準ドアプライベート仕様		トイレドアプライベート仕様	
	H(DH)	W(DW)	H(DH)	W(DW)
0620	2023(1982.5)	734(678)	2023(1982.5)	648(592)
0720	2023(1982.5)	784(728)	-	-
0820	2023(1982.5)	824(768)	2023(1982.5)	824(768)
0920	2023(1982.5)	873(817)	2023(1982.5)	873(817)

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。



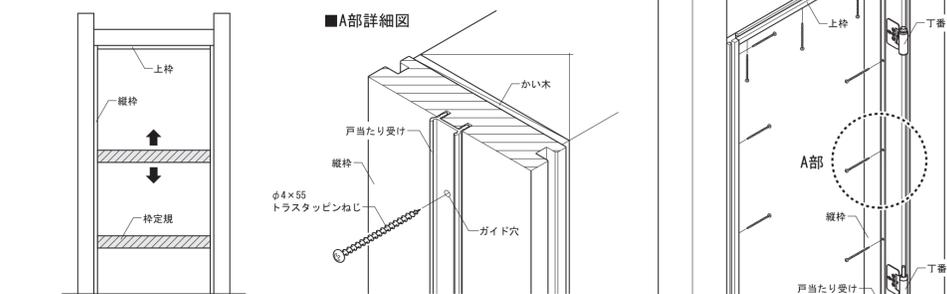
2 枠の組立て

- ①各部材を組み合わせ、同梱のねじで固定します。  
※縦枠とねじ頭が面一になるまでねじ込んでください。  
※縦枠の切断は不要です。
- ※枠組立て後、揺らす・引っ張る等の無理な力を加えないでください。破損の原因になります。  
※ねじはたたき込まないでください。保持力低下の原因になります。

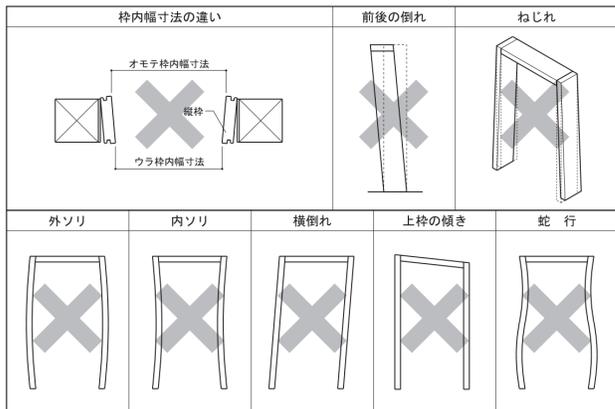


3 枠の取付け

- ①枠を開口部に入れ、縦枠下部ピースを床の埋込沓摺り用溝にはめ込んで位置出しします。
- ②開口部と上枠・縦枠との間にかい木を入れます。  
※かい木は必ず両面に木工ボンド(現場手配)を塗布し、接着してください。また、枠の躯体ねじ止め部・丁番位置にも必ずかい木を入れてください。枠のゆがみ等の原因になります。
- ③枠を戸当たり受けのガイド穴から開口部に仮止めます。  
※床先張り納めです。上枠・縦枠のみ固定します。
- ④枠定規で透き間が生じないことを確認した後、固定します。  
※後述の丁番・ストライクの調整範囲内に枠が取り付けられていることを確認してください。調整範囲を超えて取り付けたら防音性能が低下することがあります。

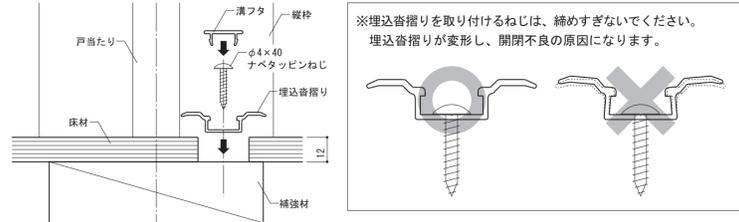


※枠の水平・垂直等、建付けを確認してから取り付けてください。防音性能の低下や開閉不良の原因になります。ドアと戸当たりバッキンの間に透き間が生じる場合は、再度枠の建付けを確認し正しく施工してください。



4 埋込み沓摺りの取付け

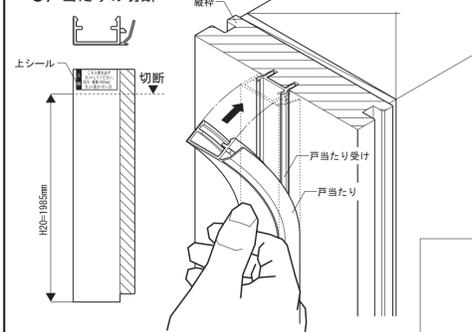
- ①縦枠下部ピースに埋込沓摺りをはめ込んでねじ止めします。  
※必ずねじ込んでからねじ止めしてください。埋込沓摺りの浮き上がりや開閉不良の原因になります。
- ②溝フタをはめ込みます。



5 戸当たりの取付け

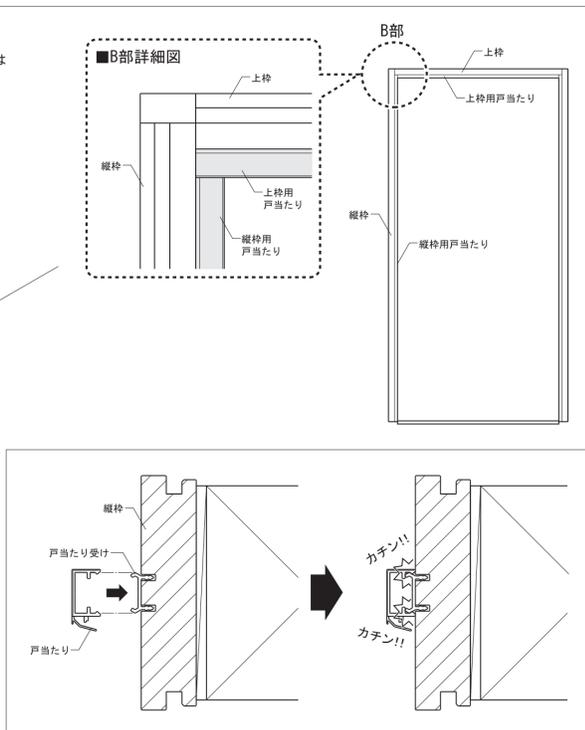
- ①現場で戸当たりの寸法を合わせて切断します。  
※上シールの張ってある側を切断してください。切断寸法は1985mmです。(H20規格品の場合)
- ②下端から戸当たり受けに「カチン」と音がするまで手でめ込みます。  
※戸当たりは、埋込沓摺りより後に取り付けてください。  
※上枠用・縦枠用の順に取り付けてください。  
※ハンマー等で直接たたき込まないでください。

●戸当たりの切断



6 透き間への充てん

- ※下地材と枠の間に透き間があると防音性能を低下させます。充てん材(防音パテ・コーキング材・遮音シート等/現場手配)を入れてください。



■取付け順序

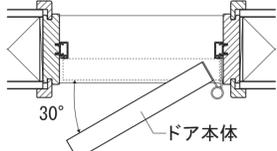
7 ドア本体の取付け

※建築工事中はドア本体を養生・保全のため外しておき、施工完了後につり込んでください。  
一時的に立てて保管する場合は、下部気密材保護のためドア本体下端の下部ピースは取り付けておいてください。

- ① 枠側丁番にテープ止めてあるねじで、ドア本体に扉側丁番を取り付けます。(C部)  
※ドア本体は左右兼用です。ドア本体の上下を確認して取り付けてください。
- ② 枠側上丁番のレバーを下げます。(D部)  
※枠側上丁番の下部から軸が出てきます。  
※レバーが動かなくなるまで下げてください。
- ③ 枠側下丁番を、枠側下丁番に差し込みます。(E部)
- ④ 扉側上丁番の軸を枠側上丁番のU字溝にはめ込みドアをつり込みます。  
※扉側上丁番の軸が枠側上丁番に入ると自動でレバーが上がります。  
※「カチャリ」とレバーが上がって、飛び出していた軸が丁番に入り込んだことを確認してください。
- ⑤ 丁番軸キャップを手で下げます。(F図)  
※「パチン」とはまるまで下げてください。
- ⑥ 本体下部ピースを外してからドアを開めます。
- ⑦ ドア本体の上下・左右のチリ寸法を確認して調整します。

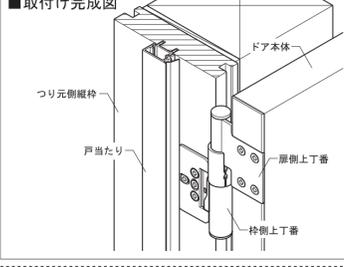
▲ 注意

●本製品は、ドアの開き角度が30°以下の範囲では自動的に閉まります。手足などをはさまないようにご注意ください。



●ドア本体つり込み後、枠側上丁番のレバーが上端まで上がっていることを確認してください。

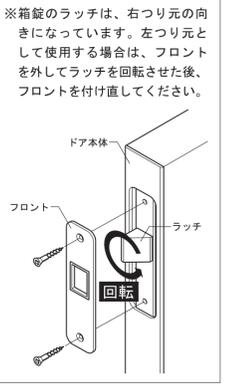
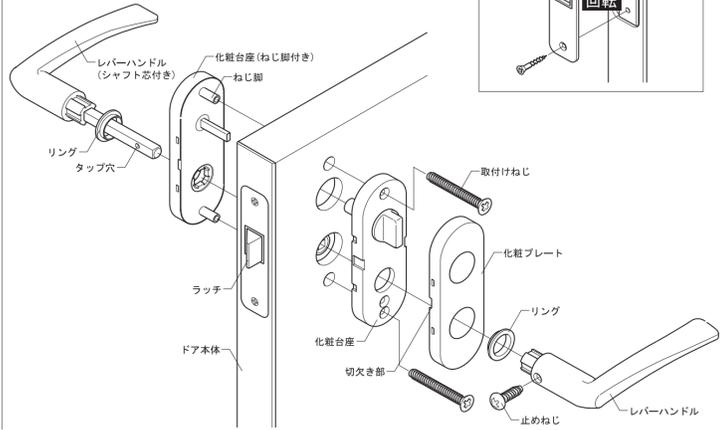
■取付け完成図



8 把手の取付け

- ① 化粧台座を室内・外から組み合わせ、取付けねじで仮止めます。
- ② レバーハンドルを両側から差し込み、レバーハンドルが軽く回転することを確認したら、取付けねじを固定します。
- ③ いったんレバーハンドルを抜き、化粧プレートをはめ込みます。
- ④ レバーハンドルを差し込み、止めねじで固定します。  
※化粧プレートを外す場合は、切欠き部にマイナスドライバーを差し込んでください。

※タップ穴が、止めねじまで届かない時は、止めねじ側のリングの内側に付いている調整リングを外して、距離を調整してください。  
※レバーハンドルにドアの厚さ方向のガタがある場合は、レバーハンドルセットに同梱の調整リングをリングの内側に付けてください。



9 ケーシング材の取付け

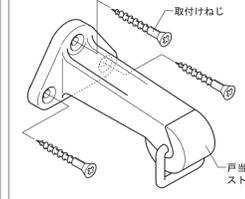
※壁材・床材を仕上げてからケーシング材を取り付けてください。

- ① 別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
- ② 枠のケーシング溝へケーシング材を差し込みます。
- ③ ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤を塗布し、ケーシング材を固定します。  
※仮止めする場合は、専用かかし釘をご使用ください。

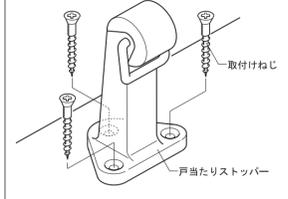
10 戸当たりストッパー(別売り)の取付け

■壁付け・床付け兼用ストッパー

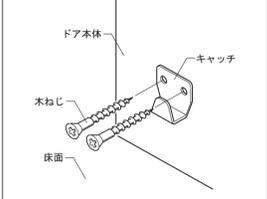
●壁付け時



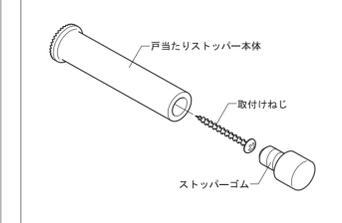
●床付け時



●キャッチ

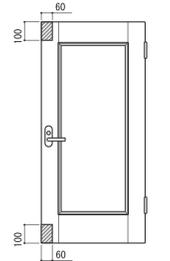


■ドア本体付け・壁付け兼用ストッパー



【ドア本体付けストッパー・キャッチの取付け範囲】

※右図の斜線範囲内に取付けてください。  
※壁付け・床付け兼用ストッパーは、キャッチの位置に合わせて壁または床に取り付けてください。



■建付け調整

▲ 注意

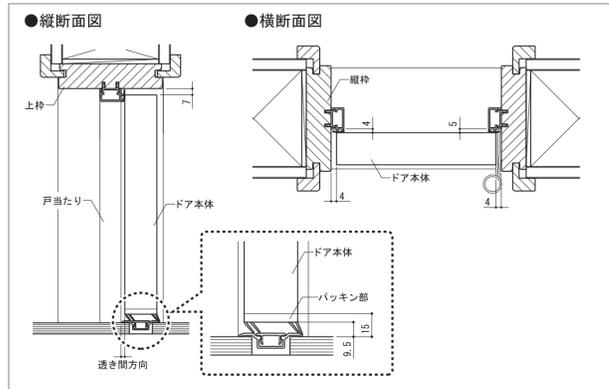
●建付け調整後、枠側丁番の固定ねじは締め直してください。

■お願い  
※枠とドア本体が標準設定位置になるように調整してください。開閉不良や防音性能低下の原因になります。  
※調整完了後、ドア本体を開閉して下記事項を点検してください。異常があった場合は、再度調整してください。

【チェック表】※下記項目は必ずチェックしてください。

- ドア本体下部気密材と宙ずりの間に透き間がないか？
- ドア本体と戸当たりパッキンとの間に透き間がないか？
- 戸当たりと枠の間に透き間がなく、戸当たり受けにはまっているか？
- 枠側上丁番のレバーが上端まで上がっているか？
- ドア本体が、枠にぶつからないか？
- ドア本体のラッチが、ストライクから外れないか？
- ドア本体のラッチが、ストライクの中でガタつかないか？

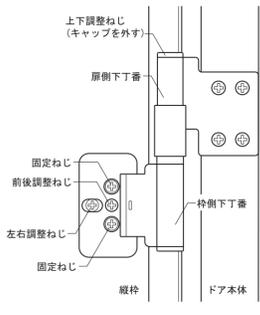
■標準設定位置  
※調整の際は、右図の標準位置を参考に調整してください。



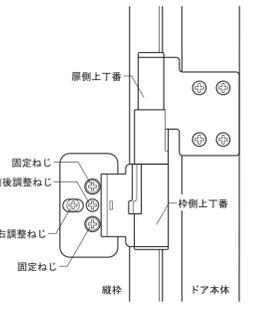
■三次元丁番

※図は右つり用丁番を示します。

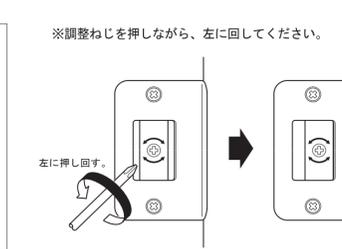
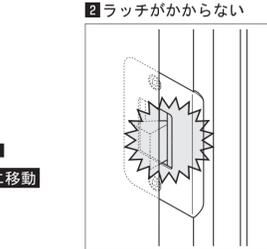
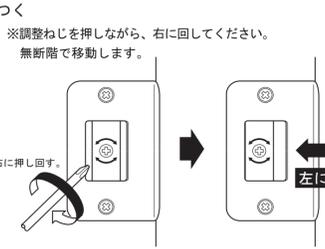
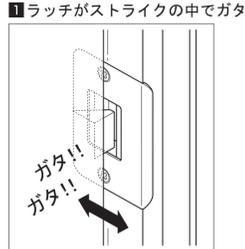
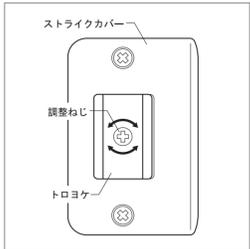
【下用丁番】



【上用丁番】

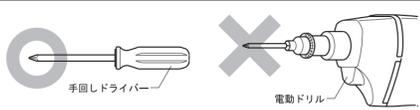


■ストライクによる調整

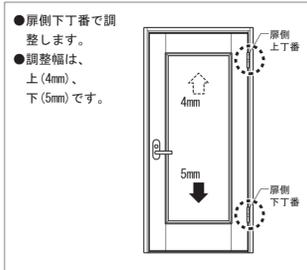


■丁番による調整

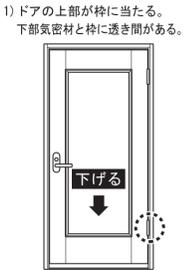
※建付け調整には手回しドライバーを使用してください。電動ドリルは使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



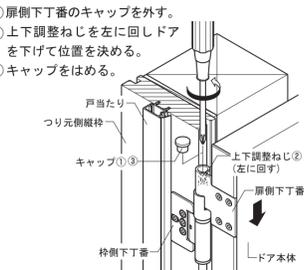
■上下の調整



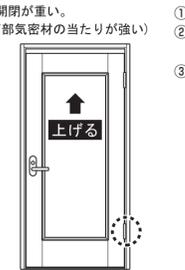
■不具合例



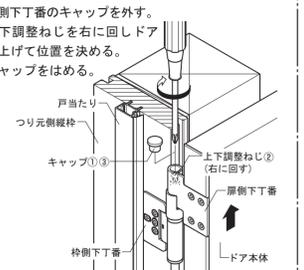
■調整方法



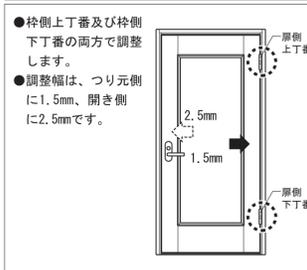
■不具合例



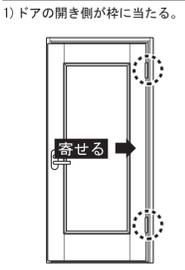
■調整方法



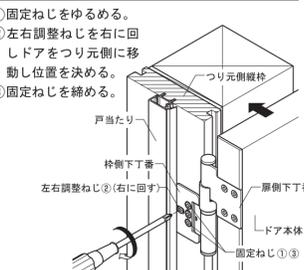
■左右の調整



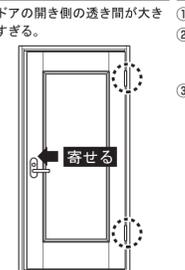
■不具合例



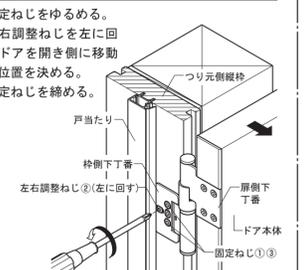
■調整方法



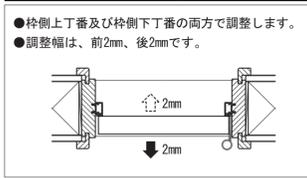
■不具合例



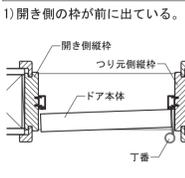
■調整方法



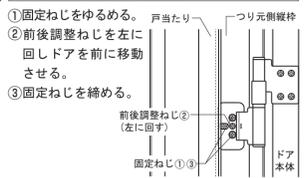
■前後の調整



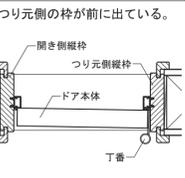
■不具合例



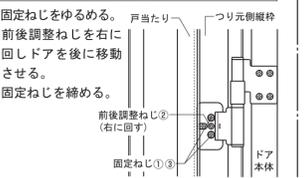
■調整方法



■不具合例



■調整方法



【埋込み沓ずり取付け用型紙】

●この型紙を使って位置出ししてください。

